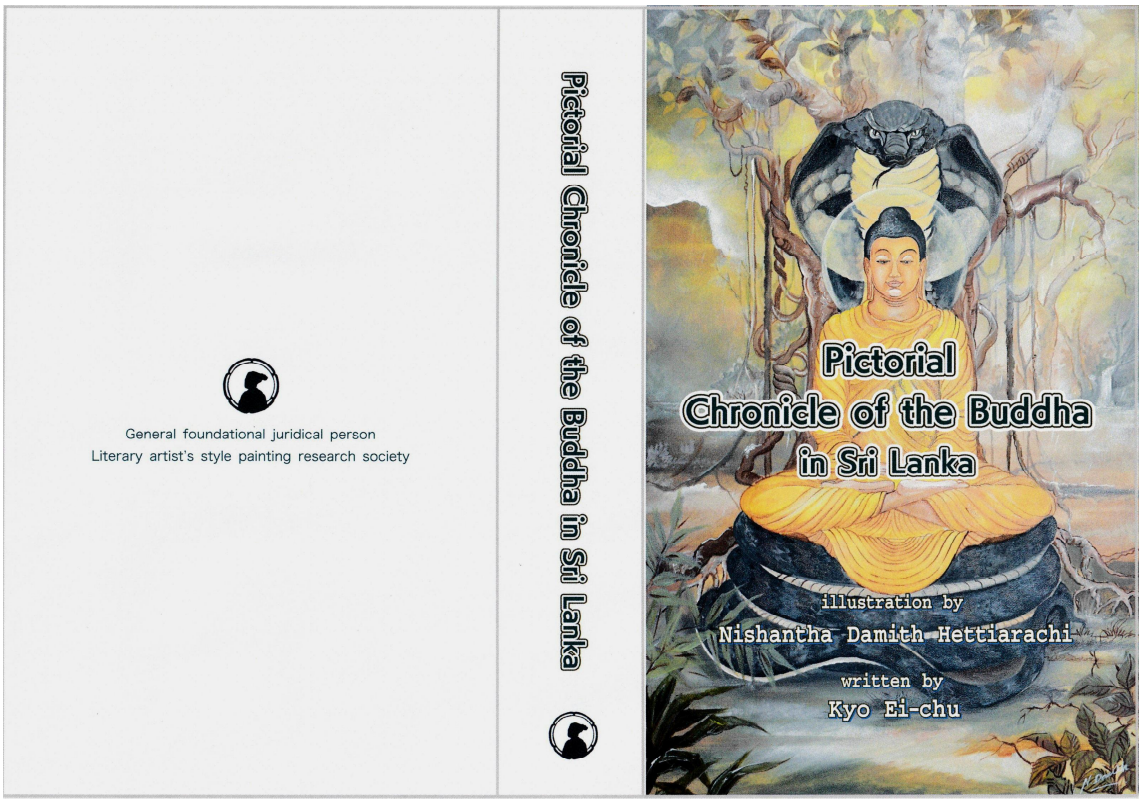
近刊書のご案内　―英文画本―

お買い上げ頂いた本会会員の方には、Chronicle of Buddha in Paintings（仏画伝）の**日本語訳冊子**を差し上げます。予価4800円＋税（**会員割引税込価格3000円**）

Pictorial Chronicle of the Buddha in Sri Lanka（スリランカの仏画伝）

illustration by **Damith Hettiarachi**（ダミス・ヘッティアラッチ）

written by **Kyo Ei-chu**（許永晝）

ブッダにはじつに様々な呼称があり、初めて仏典を読む者はまずそこで戸惑ってしまう。しかも「ブッダ」というのは固有名詞ではない。……複雑にみえるこうしたブッダの呼称も、すべて輪廻（サンサーラ）や因縁（ニダーナ）というインド人やスリランカ人の脳裏にある、ごく一般的な時空の観念が反映したものにすぎない。スリランカでは、学校で習う「本生譚（ジャータカ）」にすべて書かれている。本書に紹介する「ブッダ」とは、我々が生を受けた劫（こう）に在世したブッダである。「劫」とは、インド哲学の循環宇宙論における、一宇宙が誕生して消滅するまでの期間をさしている。「四阿僧祇（しあそうぎ）十万劫（じゅうまんこう）」という気の遠くなるほど遥か昔、苦行者のスメーダがディーパンカラという〈十の力をもつ者〉の前にその身を投げ出したとき、「そなたはこれから気の遠くなるような時を経た後、ゴータマという名の仏（ブッダ）となるであろう」と授記（じゅき）される処からジャータカの物語は始まる。そして、ジャータカの最終話（第五四七話）である『ヴェッサンタラ・ジャータカ』において、〈十の完成〉のうち最も大切な〈布施（ダーナ）の完成〉を成し遂げたボーディサッタが兜率天（トゥシタ）に転生し、いよいよ「争仏（ハラーハラ）」という仏出現の争（さわぎ）が天界で起こるのである。

（日本語版冊子「はしがき」からの抜粋）